

今回、特別試験として 6 月 26 日(日)に行われた新試験制度 5 回目の実施となる平成 23 年春期(特別)の情報処理技術者試験について、応用情報技術者ほか高度系 5 試験の合格発表がありました。同時に発表された得点分布などの統計データをもとに、合格発表コメントをお知らせします。

プロジェクトマネージャ試験 (PM)

[平成 23 年春期のプロジェクトマネージャ試験 統計情報]

応募者	20,459 人
受験者	12,340 人
合格者	1,637 人
合格率	13.3%

プロジェクトマネージャ試験は、従来実施されてきたプロジェクトマネージャ試験と同等のレベル・内容の試験ですが、従来、取り上げられてこなかった組込みシステムの事例も午後試験に含めることになりました。

新試験制度で 3 回目の実施となる平成 23 年春期のプロジェクトマネージャ試験では、昨年の平成 22 年春期のプロジェクトマネージャ試験に比べ応募者が 600 人ほど増えました。合格率は前回の 12.9%とほぼ同じ 13.3%で、合格者数もほとんど変わりませんでした。

[午前 試験 (高度試験の共通知識問題)]

- ・高度試験に共通して出される問題 30 問は、前回の試験と同様にすべて応用情報技術者試験 (AP) から選ばれていますが、AP の問題の中でも比較的素直で常識的な問題が選ばれています。
- ・過去問題の比率は 6 割あり、前回よりも増えています。
- ・分野別の出題比率は前回と同じで、出題範囲の中で 23 ある中分類からまんべんなく出題されていますが、下記の分類からは 2 問出題されており、やや重視されていることが分かります。

(2 問出題された中分類)

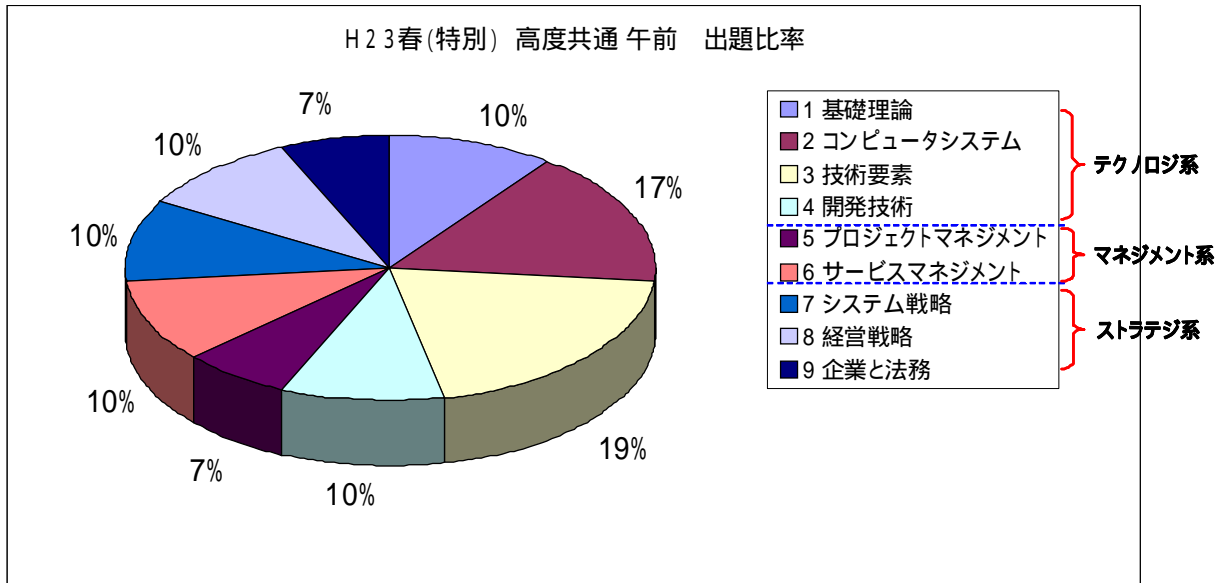
基礎理論、セキュリティ、システム開発技術、プロジェクトマネジメント、サービスマネジメント、システム戦略

- ・新傾向または新しい用語に関する問題は次のとおりです。

(新傾向問題)

- 問 10 マルチメディアコンテンツに関する W3C 勧告 (= AP 問 27)
- 問 14 ゼロデイ攻撃の特徴 (= AP 問 44)
- 問 25 受注管理システムの非機能要件 (= AP 問 65)
- 問 27 技術進化過程を表わすもの (= AP 問 69)

平成 23 年春期の高度試験共通 午前 問題出題比率



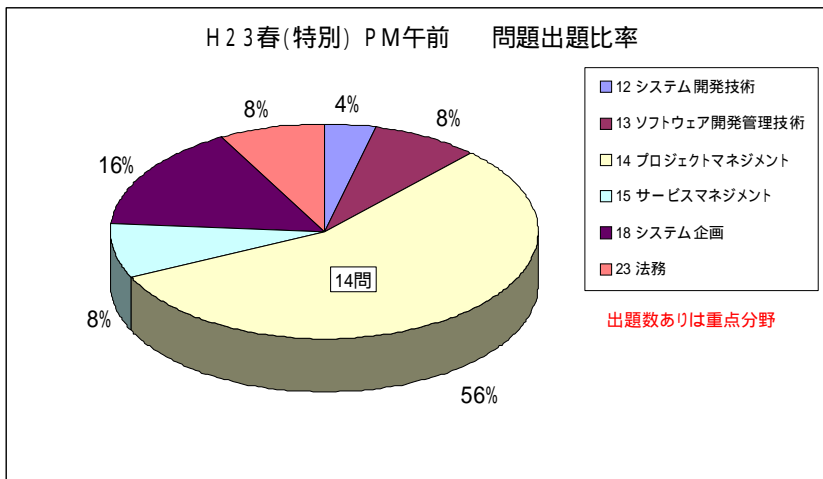
〔午前 の専門知識問題〕

午前 試験では、専門分野のプロジェクトマネジメント（PM）とサービスマネジメントで半分以上の出題数になっています。今回はPM 分野で前回と同じ 14 問出題されており、そのうちの 8 問が過去問題だったので、解きやすかったと思われます。PMBOK と明記した問題は前回初めて出題されましたが、今回は 3 問ありました。今後は徐々に増えていくと予想します。

新傾向問題としては、次の問題が挙げられます。

- 問 1 プロジェクトマネージャが成すべき事項
- 問 2 プロジェクト憲章の知識エリアとプロセス群
- 問 3 プロジェクトスコープの拡張と縮小
- 問 6 スケジュール短縮技法のクラッシング
- 問 7 IFPUG 法における機能の分類
- 問 14 リスクマネジメントのリスク対応戦略
- 問 19 共通フレーム 2007 における保守プロセス
- 問 22 PBP における投資効果の評価

平成 23 年春期のプロジェクトマネージャ試験 午前 問題出題比率



〔午後問題〕

・午後 問題の出題分野とテーマは、次のとおりです。新試験では解答数が3問から2問に減りましたが、他の試験と同様に、1問あたりの解答量が多くなってきており、解答時間の余裕はあまりないと思われます。

・問4は組込みシステムの出題ですが、専門知識が必要な内容ではありませんでした。

問1 スケジュール管理（製造装置の設計～施工を請け負うエンジニアリング企業） **やや難**
作業工程図（PDM）の日程，体制面のリスク，注意する観点，レビューに加えるアクティビティ，計画変更

問2 基幹システムの再構築（アパレル企業へのERPの導入支援） **普通**
フィット&ギャップ分析，リスク要因，進捗遅延の防止，開発期間に影響する数値，スケジュール調整

問3 システムの再構築（金融機関の審査システム） **普通**
総合テストで想定される混乱，懸念されるリスク，テストの実施方法，テストに関するリスク分析

問4 プロジェクトの評価（デジタルカメラ開発プロジェクト） **やや難**
予測を超えた欠陥数に対する品質管理，生産性向上策，欠陥摘出のために講じた策，改修状況

・午後 の論文問題の出題分野とテーマは次のとおりです。前回同様，どの問題も一般的な記述し易いテーマでしたが，今回は特に記述しやすいテーマだったといえます。

新試験では各設問に字数制限付き，設問ア：800字以内，設問イ：800字～1,600字：設問ウ：600字～1,200字となっています。

問1 システム開発プロジェクトにおけるコストマネジメント(コスト管理)
特徴，コストの構成，コスト見積り方法と精度，予算作成の考慮事項，コスト差異の把握，予算超過対策

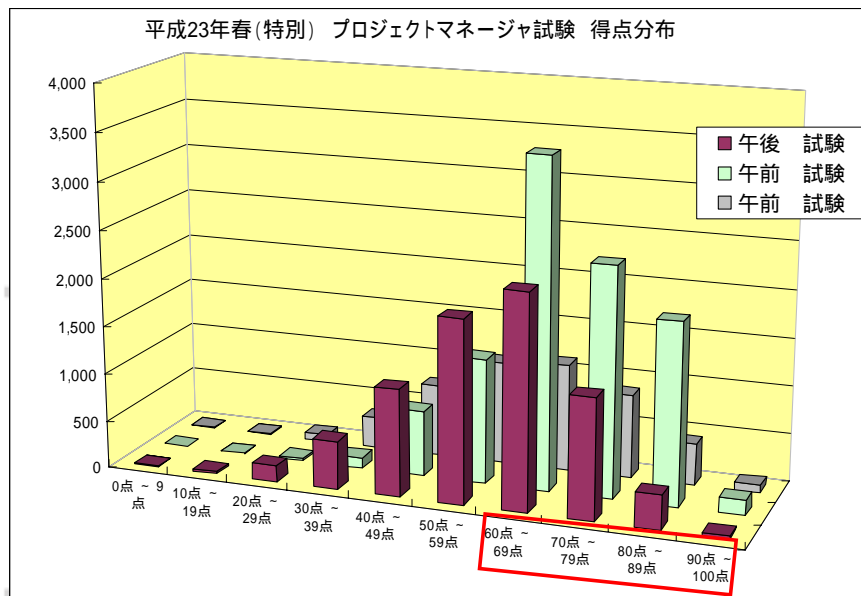
問2 システム開発プロジェクトにおける品質確保策について（品質管理）
特徴，品質目標，阻害要因の判断根拠，品質確保策，予算や納期の制約考慮事項，工夫結果の評価

問3 システム開発プロジェクトにおける組織要員管理について（要員管理）
目標，チーム編成と特徴，人間的側面の問題と対策，目標阻害するリスク，対策の評価，課題，改善点

〔平成 23 年春（特別） プロジェクトマネージャ試験 スコア分布〕

得点	午前 試験	午前 試験	午後 試験	午後 試験	合格者
0 点 ~ 9 点	1	1	6	D	469
10 点 ~ 19 点	6	3	25		
20 点 ~ 29 点	70	25	166	C	401
30 点 ~ 39 点	328	112	504		
40 点 ~ 49 点	751	688	1,119	B	1,329
50 点 ~ 59 点	1,073	1,304	1,905		
60 点 ~ 69 点	1,120	3,429	2,236	A	1,637
70 点 ~ 79 点	877	2,387	1,257		
80 点 ~ 89 点	437	1,891	358		
90 点 ~ 100 点	82	160	35		
計	4,745	10,000	7,611	3,836	1,637
対前試験比率		210.7%	76.1%	50.4%	42.7%
午前 免除者(概数)	7,595	61.5%			

合格者数	1,637	採点者数の割合	合格者数との差
午前 60 点以上合計	2,516	53.0%	879
午前 60 点以上合計	7,867	78.7%	6,230
午後 60 点以上合計	3,886	51.1%	2,249
午後 60 点以上合計	1,637	42.7%	0



新試験制度で春期の試験で午前 試験免除になった人がたくさん出ましたが、得点分布を分析してみると、今回午前 試験の免除者は概算で 7,595 人 (61.5%) あり、受験者の半数以上が午前 からの受験となりました。

得点分布を分析してみると、高度系共通の午前 試験で基準点(60 点)以上の人は 2,516 人(受験者の 53.0%)でした。また、午前 試験で基準点以上の人は 7,867 人(受験者の 78.7%)と非常に高い率になっていますが、前回の午前 は 61.8%の人しか 60 点以上を取れていないので少し易しくした傾向が伺えます。なお今後の午前 試験では、もう少し難しい問題が出題されることも考えられるため、難易度の少し高い問題も解答できるように学習する必要があります。

午後 で基準点(60 点)以上取れた人はそれぞれ 51.1%で、前回の平成 22 年春の試験の 61.2%に比べて 10%ほど下がっています。前回少し易しすぎた嫌いがあったので、少し難易度を上げた可能性があります。午後 で合格点の A 評価を取れた人は 42.7%で、前回と大差はありませんでした。

合否別の試験対策と学習教材のご案内

今回合格された人へ

合格された方で今秋の情報セキュリティスペシャリスト，ネットワークスペシャリスト，システムアーキテクト，IT ストラテジスト，IT サービスマネージャ試験を目指す方は，午前 試験が免除となります。午前 の専門分野知識について，なるべく早く試験対策を始めましょう。まずは該当分野の応用情報技術者試験の問題を解くことをお勧めします。

午後 試験が論文となるシステムアーキテクト，IT ストラテジスト，IT サービスマネージャ試験を受ける方は，試験の内容や出題範囲をよく理解して学習することが必要です。論文試験で合格点の A 評価を取るためには第三者の添削が欠かせません。論文添削 2 回の午後 対策の論文対策コースをご活用ください。

出版している試験対策用の教科書（基礎テキスト）は新試験用にレベルごと分野ごとに新たに編集し直したものです。また，出題ポイントを効率的に学習するための「合格への総まとめ」，各試験別の予想問題集，本試験問題は新試験の出題内容を研究し改定しています。

特に今回は特別試験として，合格発表が 8 月 15 日となったことで，秋試験までの学習時間が 2 か月間と短くなっています。高度系試験を目指す方は短期集中で効率的な学習が求められますが，習得すべき知識が非常に多いため，学習プランを検討する必要があります。

アイテックでは，問題集と模擬テストの教材セット「2 か月集中パック」にて，この秋合格を目指す学習者をバックアップします。

その他，学習にあたっては，受験対策のプロ講師が対策セミナーを行う「合格ゼミ」は好評を頂いており特にお勧めです。また弱点補強のトレーニング問題とポイント解説，午後の音声講義によるポイント解説などの充実したコンテンツの WEB 学習「インテンシブコース」も含め，教育メニューをたくさん用意しております。

各学習教材の内容は弊社のホームページからご覧いただけます。

(<http://www.itec.co.jp/>)

今回残念ながら不合格だった人へ

まず，午前 の試験で 50 点に満たなかった人は，自分がよく理解していない内容について早めの学習が必要です。時間のない方は，「2011 合格への総まとめ 応用情報・高度 午前共通知識対策」で出題ポイントと必須問題で効率的に学習を進めましょう。基本事項を理解していない人や苦手な分野がある人は，アイテック刊行の新試験用のレベル 3 のテキスト教材でじっくり学習することをお勧めします。今回の午前 ，午前 試験の得点が 50 点～59 点の人は，合格までほんとうに“あと一歩”のところまで実力が来ていますので，学習した知識が薄れないうちに，早めに次回試験の対策として復習を行い，新たに加わった分野の学習を始めましょう。また，午後試験の得点が 60 点に満たなかった人は，まず午前 の専門知識の内容に関して，午後試験問題を解答するのに必要な知識を確実に身につけてください。

次に確実な解答を出すために，落ち着いて問題を解き，解答が正しいかを検証する力を付けましょう。午後試験に強くなるには，時間を決めた問題演習や模擬試験を会場で受けるなど，試験会場の環境を考えたうえで問題を解く訓練を行うのが有効です。

通信教育などのコースでは，午前 が免除になった方には教材（高度専門知識・午後試験重点対策テキスト，予想問題集，模擬試験（2 回），論文添削（2 回；午後 が論述試験のコース対象）をお得なセット価格でご提供する標準学習時間 4 か月の「免除コース」をお勧めします。

2012 春試験対策の開講は 12 月となっておりますのでぜひ，ご利用ください。

この他、午前 の復習をかねた学習を考えている方には、問題演習を中心に行うための午前ポイント集、問題集（予想問題集、本試験問題集）と模擬試験（2回）、論文添削（2回；午後 が論述試験のコース対象）をセットにした「標準学習コース」は10月開講となっております。また、試験対策を受験対策のプロ講師が解説するセミナー「合格ゼミ」では、試験対策のノウハウや専門知識を効率的に理解できるセミナーはと大変好評を頂いております。各学習コース・教材の内容は弊社のホームページからご覧いただけます。通信教育他、各種コースは9月初旬から、合格ゼミは10月下旬より順次受付を開始します。
(<http://www.itec.co.jp/>)

(以上)

